

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970600239
法人名	医療法人 五月会
事業所名	グループホーム めつく須崎
訪問調査日	平成 19年 6月 5日
評価確定日	平成 19年 10月 2日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 7月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	3970600239		
法人名	五月会		
事業所名	グループホームぬっく須崎		
所在地 (電話番号)	須崎市妙見町11番6号 (電話)0889-43-0510		
評価機関名	高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ		
訪問調査日	平成19年6月5日	評価確定日	10月2日

【情報提供票より】2007 5月18日

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 31 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 15 人, 非常勤 2 人, 常勤換算	16.2 人

(2) 建物概要

建物形態	併設/ 単独	新築/改築
建物構造	RC 造り	
	2 階建て	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30000、25000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 60/回 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用 5月18日

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	6 名	要介護2	2 名
要介護3	7 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	名
年齢 平均	84.3 歳	最低	75 歳
		最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	須崎くろしお病院、一陽病院、吉野歯科	2
---------	--------------------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街より、少し離れた閑静な雰囲気の小高い丘に建てられたホームで、ホーム前には菜園のできる広い畑を持ち、職員、利用者が野菜などを植え収穫に行き来しやすいよう室内広間からスロープを付け、車椅子の対応にも配慮している。職員同士が仲よく、スムーズに協力し合っており、利用者さんを守っている。日頃から、地域自治体に働きかけ、積極的に交流に努めている。今後、地域に貢献して行く開かれたホームだと確信した。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回、初めての評価である。外部評価を受けるにあたって重要書類など、必要書類を揃えて準備ができていた。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2ヶ月に1度、町内会、民生委員、行政、家族、利用者数名を交え会議を持っている。開設後1年あまりの間だが運営状況を理解してもらおう努力をしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 年2回、6月と11月に集まりの場を設けている。玄関に意見箱をおいているが、今のところ、投書はない。家族の訪問時、声かけをいつでも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域のお祭り、盆踊り等に入居者とともに参加したり、保育園との交流もある。町内会にも積極的に参加している。近所の方が野菜を届けてくれたり自然な形で交流ができています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔家庭的な環境、地域生活の継続支援、事業所と地域の関係性強化などを謳った理念となっている。〕		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔各ユニットに掲示され、スタッフ会などで具体的なケアについて、話し合うようにしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 〔職員から日々のケアの中で、実践しようとする姿勢がうかがえた。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町内会、自治会等に参加している。 〔近所の方とは、旬の野菜や果実を届けてくれたりと自然な形での交流はできている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地域のお祭り、盆踊り等に入居者とともに参加したり、保育園との交流もある。一年を通して積極的に参加している。〕	○	町内会、自治会に参加し、今以上に地域との関係を築くことを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔初めての外部評価ということで、全職員に評価内容を配りガイドブックも配布している。またユニットごとに自己評価を目につき易いところへ掲示している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔今回の評価の改善点に対して取り組む姿勢が見受けられる。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 [昨年から、町内会、民生委員、家族、利用者数名を交え双方向的になるような会議を持っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 [ホームの様子や運営状況を説明し理解してもらうよう努力し、そこでの意見を取り入れ、サービス向上に活かしている。]		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 [地域包括支援センター、福祉事務所、介護保険係等と協議しながら、課題の解決を図っている。また民生委員が視察にきたり、市の介護相談員の研修の受け入れも行っている。]		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 [月始めに、全家族にホーム便りと共に報告してる。] <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 [問題等が起こった場合、スタッフ会で話し合い、また管理者等が家族に電話で報告することもある。] <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について、使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 [家族が面会の時に、金銭出納帳にサインをもらうようにしている。]		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 [月2回 集いの場を設けている。] <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 []		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 [各ユニットで職員を固定化しており、同じ職員によるケアを心がけている。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 [異動や離職の場合も、引継ぎの面で最善の努力をしている。]		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 [身体拘束研修にスタッフ代表が参加しており、研修内容を閲覧できるようにしている。] <input type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 []	○	月一回のスタッフ会などで、研修報告や独自に勉強会を開く事が重要である。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 [3ヶ月に1回管理者が、地域ケア会に出席、また須崎市内5ヶ所のグループホームとの交流があり、相互訪問等交流活動ができています。]	○	同業者のネットワークにも加入し、事業所及び地域全体のサービスの水準の向上につなげる事を期待する。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 [管理者が入居までに本人との面談を行い、自宅・病院などを訪問し生活歴病歴等の把握に努めている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 [奨励している。] <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 [事務所を見学してもらうことから始めている。すぐ入居となった場合でも安心して過ごせるよう配慮している。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔七夕や正月飾り餅つき、野菜作り等、入居者の技や特技が活かされる様、その場面をセッティングしたり声かけに配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識を持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔利用者の持っている特技、伝統など、職員が尊敬し大切にしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔 〕		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔 〕		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔スタッフ会はユニットごとに月一回行われ、利用者2・3人ずつを対象に意見や課題を全員で話し合い計画に活かしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔ユニット合同は、三ヶ月ごとに行われている。〕	<input type="radio"/>	計画書は個々にばらつきがあり、全員について3ヶ月ごとの見直しを行うなどの整理が必要である。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔毎日の申し送りノートにより、情報を全員が確認している。利用者の状態変化など、その都度検討見直しをしている。〕 <input type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔 〕	<input type="radio"/>	月1回程度は本人及びご家族の意向や状況を確認すると共に、その変化に対応した介護計画の見直しが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活の継続ができるように努めている。 [透析で週3回通院をされている方がおいでだが、家族と相談のうえ家族がホームから送迎している。] <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [対応できることを入居時に説明をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 [本人、家族の状況に応じて、通院送迎等、必要な支援には柔軟に対応している。]		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 [本人や家族が希望するかかりつけ医に、受診が出来ている。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [本人、家族と相談の上、臨機応変に対応している。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 [状況により職員が代行することもあり、受診結果の共有が出来ている。]		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [契約時に、ご家族に重度化した場合の対応やケアについての指針の説明をしている。] <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 [○	状態の変化、家族の気持ちの変化、また本人の思いに注意を払い、医師、職員が連携を取り、支援に繋げていくことを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 [日々の業務の中で、さりげない対応に配慮している。また職員同士気づいたことを話し合い注意しあえている。] <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 [プライバシーの保護に関する研修会へスタッフ代表が参加し、スタッフ会などで報告し意識向上を図っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 []		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 [レクリエーションや野菜のお世話など、全体的な流れは持っているが、時間を区切った過ごし方はしていない。] <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 [一人ひとりの状態や思いに配慮しながら、柔軟に対応している。]		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 [ホーム前の畑から収穫されたばかりの野菜を食材に取り入れ、利用者同士が下ごしらえ等をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助に止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 [利用者と職員が同じものを一緒に食べている。]	○	調理、配膳を促す働きかけへの工夫により、利用者の活動の広がり期待する。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 [午後1時30分以降、常時、利用者の希望により、入浴できるように対応している。] <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 [毎日、入浴の人がいれば1日おきの人もいる。個々にあった入浴支援をしている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔把握し職員が場面作りに努力している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔ホーム前の畑での野菜作り、七夕飾り作り、唄、踊りなど、利用者の経験や生活の知恵を発揮する場面を作っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出す働きかけを行っている。 〔職員が、利用者の生活歴を、把握し働きかけを行っている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔ホーム前の畑で菜園をしたり、近くの公園を散歩したり、近所の友人宅や喫茶店へ出かけることもある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に 行っている。 〔「声かけ」をして、日常的に支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔買い物に市内のスーパーに出かけるなど、日常的に支援している。〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔利用者一人ひとりの外出の傾向をつかみ、利用者が外出しそうな様子を察知したらさりげなく声をかけたり、安全面に配慮した外出支援に取り組むなど自由な暮らしを支えている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔 〕		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔年2回、防火訓練を、消防署の指導で行っている。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔 〕	○	職員だけの誘導の限界をふまえて、地域の人々や他の事業所の協力が得られるように、日頃から話し合いを持つ必要がある。特に夜間の支援体制について検討されることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔法人内で立てた献立を参考に、栄養バランスに配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔ホーム菜園の取れたて野菜を食材にしたり、お誕生日会、行事の時など利用者の要望を聞いている。〕 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔	<input type="checkbox"/>	専門的な観点からの定期的な栄養チェックが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔季節の花や鉢を置いたり、利用者の作品を飾り付けている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔家庭的な雰囲気を出そうとする努力が感じられる。〕 <input type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔	<input type="checkbox"/>	季節感を大切にし飾りつけの掲示期間を定めたり、臨機応変な工夫が求められる。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔新しいホームなので今のところ、持込みにばらつきがあるが、引きつづき働きかけていって欲しい。〕 <input type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔	<input type="checkbox"/>	職員が、本人の意向を確認しつつ、その人らしく居心地のよい居室作りに、工夫しながら取り組む事を期待する。